

# SDGsへの取り組み

OUR PRACTICES TO ACHIEVE THE SDGs



## 2020年度 年間活動報告について

### 【はじめに】

当社は、2020年3月に「国連グローバル・コンパクト」の理念に賛同し、参加を表明しました。そして、その活動における理念の遵守・実践に向けて、「持続可能な開発目標(SDGs)」を指標とした社内活動を開始しました。2020年度は、6目標を重点目標として設定し、各本部において実践目標の設定と課題達成に向けての活動を行いました。

本報告書は、2020年度各本部の活動報告に基づき作成しました。それぞれの達成状況については、数字による達成度を記載しており、来期に向けてさらなる活動の活性化の一助とします。本年は、新型コロナウイルスの感染予防対策の充実と、取り組みに重点を置き、社内クラスターの発生抑制と適切な感染予防の行動に基づいて、医薬品の安定生産を継続しています。引き続き、感染予防対策の充実化を進めていくとともに、SDGsの理念である、全世界の貧困や健康、教育、気候変動、環境劣化など、企業にとって関連のある広範な課題解決に取り組み、魅力ある職場と安定的な企業活動の実施を目指しています。

藤本化学製品株式会社  
ESG推進室  
2021年5月10日

事業目標:本業を通じた社会貢献の実施

- ・医薬品原薬の受託製造を通じて、GMP管理のもと、高品質な医薬品を製造し、安定的な供給を通じて、世界に人々の健康に貢献します。



【部門別目標】

- 技術本部 : 既存製品の安定供給の確立、原料メーカーへの品質監査強化
- 研究開発本部 : 医薬品開発を通じた社会貢献
- 管理本部 : 一般事業主行動計画、ストレスチェック制度活用。健康経営
- 営業本部 : お客様満足度のアップ

【年度の活動内容】

新型コロナウイルス感染拡大の中、医薬品の供給継続を目的に、社員の感染予防、感染者対応マニュアルの策定、web会議導入など、本部ごとに事業継続を踏まえた対策を実施し、社内クラスターの発生を抑制しました。中国をはじめとした海外原料の安定調達も含めて、新規メーカーの原料評価、試験操業を計画通りに実施しました。また、両工場における生産計画を完遂し、大きな問題もなく操業を継続中です。来年度に向けても、安定操業と納期、品質確保を目指したマネジメントを実施します。医薬品の品質保証のために原材料の供給会社に対する計画的な監査を実施しており、計画以上の監査を実施しました。開発品の受託製造に関しては、お客様の納期、数量、品質に対する要望を満たし、計画通りに実施しました。営業活動においては、面談等の自粛の中、web会議を用いた情報交換や、お客様に対するアンケートにより、お客様とのコミュニケーション不足を補う対応を実施しました。さらに、一般事業主行動計画に基づき、福利厚生の実施化を達成できましたが、健康経営の認証獲得には至らず、来期に向けてさらなる改善を実施します。

※ 医薬品の安定供給

		実施項目	達成状況	総括	達成率
技術本部	泉北工場	製品A 工程スケールダウン、原料メーカー 変更に伴うPVの完遂	PV完遂済み	医薬品の安定供給において重要な品質保証(バリデーション、原料メーカー追加、クレーム対策)を計画的に遂行しました。また、治験薬の受託製造においても、お客様の要望通りに遂行し、生産計画を完遂できました。	100%
		製品B原料変更に伴うPVの完遂	PV完遂済み		100%
		製品C生産設備の適格性評価、実製造を計画通り完遂	適格性評価、実製造2ロット完遂		100%
	金楽工場	調達困難原料の原料メーカー変更検討(製品Dの2原料)	両サンプルのユーステスト実施、変更検討終了		100%
		クレーム"0"の達成	品質問題なし		100%
研究開発本部	プロセス開発研究所	開発医薬品の受託検討/製造	計画通り実施		100%

※ 原材料 供給者監査

		実施項目	達成状況	総括	達成率
品質保証部	泉北・金楽工場(購入)	供給者監査の計画的な実施 (年初計画35件:下期追加11件)	全54件実施 (上期37件、下期17件)	原材料の品質保証、監査対応において、計画的に実施できました。	100%

※ 従業員福利厚生

		実施項目	達成状況	総括	達成率
管理本部		一般事業主行動計画(第4期)開始	①計画有休の実施	一般事業主行動計画に基づき、有給休暇などの取得率向上に向けた取り組みを行い、休暇取得率の向上につなげることができました。また、ストレスチェックに基づく心のケアへの取り組みを行っています。	100%
			②育休、介護休の改訂(10月) (時間単位の休暇可能)		100%
			ストレスチェック実施(9月)		ストレス負荷の高い部署の見える化

※ コロナ対策

		実施項目	達成状況	総括	達成率
管理本部		健康経営認定取得	健康経営認定取得できず	健康経営の認定に向けた取り組みを行い、申請を行いました。残念ながら取得することができませんでした。引き続き、取得に向けた取り組みを継続します。	—
管理本部 技術本部		コロナ感染予防対策など	コロナ感染症に対する一連の施策実施 時差出勤、Web会議の推進など	感染拡大への予防対策を実施し、医薬品製造の安定操業へ繋げることができました。感染者に対応するための出社可否フローを策定し、社内感染防止に対する効果がありました。また、全従業員に対して、マスク、携帯アルコールの配付、時差出勤、在宅勤務実施により、社会的な感染予防対策要望に対して、責任ある行動と対策を実施しました。	100%

※ お客様満足度

		実施項目	達成状況	総括	達成率
営業本部		お客様アンケート実施	分析関連の要望アンケート(5社/23社回答) アンケート3件実施(核酸、粉砕、取引先、CSR活動)	市場調査を含めた、現在の医薬品事業全体について情報収集を行い、次世代の医薬品製造や受託産業への取り組み方に対する方向性を確認しました。	100%

## 目標7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに

2021年5月10日  
ESG推進室

### 事業目標:省エネルギー化の推進

- ・エネルギー原単位に基づく、エネルギー消費量の削減を実施します。
- ・温室効果ガスの削減に貢献する設備、機器の導入を推進します。

#### 【部門別目標】

- 技術本部 : 省エネ活動を通じた環境対策実践
- 研究開発本部 : 安全、環境に配慮したknow-how設計と実践
- 管理本部 : 間接業務の効率化、ITインフラ再構築
- 営業本部 : 営業活動の効率化、公共交通機関の使用促進



#### 【年度の活動内容】

省エネ設備の導入は、計画通りに実行しました。そして、製品、中間体等の化合物に対する熱安定性データを取得し、安全操業と生産時のエネルギー消費の効率化に寄与しました。また業務のデジタル化を推進し、コロナ禍における業務の効率化と、事業所間の移動等を制限することにより、省力化を推進しました。さらに営業活動においてもweb会議の活用と受発注業務の脱FAXにより紙消費の削減と省力化を実施しました。その結果、年間を通じて各本部の業務における省エネ、省力化、効率化をおおむね計画通りに実施できました。

#### ※省エネ活動

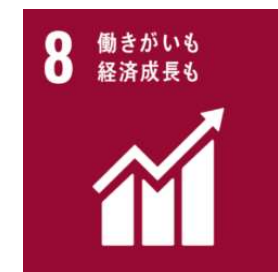
		実施項目	達成状況	総括	達成率
技術本部	泉北工場	省エネ設備の導入(計画4件)	4件導入	生産設備等の導入において、省エネまたは環境配慮型の設備を選定し、計画以上に実施できました。消費電力に関しても、目標通りの削減を達成しました。	100%
	金楽工場	環境に配慮した設備導入(計画1件)	2件導入		100%
		電気使用量削減(0.2%削減)	0.2%		100%

#### ※安全性評価

		実施項目	達成状況	総括	達成率
研究開発本部	基盤技術研究所	熱安定性データの取得	35項目	製品、中間物等の熱安定性データの取得は、安全操業とエネルギー消費の効率化に寄与し、安定的な生産活動に貢献できました。	—

#### ※業務デジタル化

		実施項目	達成状況	総括	達成率
管理本部		XPOINTによる電子承認拡大(電子承認数1000件)	電子承認数年間目標(電子承認数3750件)	期初の目標に対する達成率は100%に満たないものがありますが、コロナ禍での業務デジタル化に注力し、感染予防対策として大きく寄与しました。テレワーク対応機器導入とテレワーク実施、webシステムを用いた会議や営業活動により、対面する機会を十分削減し、社内のみならず、お客様の感染予防ニーズにも応えることができました。加えて、本来の目標である電子帳票類や電子承認の活用により、業務簡素化と紙使用量の削減とテレワークへのスムーズな移行ができました。	100%
		XPOINTデータベースクエリを活用した業務プロセス削減(10クエリ)	3件		30% (継続対応中)
営業本部		テレワーク推進、Teams活用	3-5件/週レベルでのお客様、社内のWEB会議実施		100%
		受発注業務の簡素化(押印電子化、脱FAX発注)	PDF資料への電子捺印処理の実施(可能な限り実施済み) 上記資料のメール配信の実施	75% 75%	



**事業目標:事業活動を通じた人権尊重、法令の遵守**

- ・働き方改革の推進による社内活性化を実現します。
- ・社内人材の活用、将来を見据えた計画的な人材採用を行います。
- ・サプライチェーン全体でのCSR調達を強化します。

**【部門別目標】**

- 技術本部 : 将来を見据えた計画的な人材採用及び教育訓練
- 研究開発本部 : 終了報告会への若手参加。所内検討会、勉強会開催
- 管理本部 : 有休取得日数の達成、時間外労働の管理、就業規則改定。離職者防止。従業員向け研修
- 営業本部 : 報連相の徹底とスキルアップへの取り組み

**【年度の活動内容】**

従業員の労働環境の改善に向けて、有給休暇取得の推進、時間外労働の抑制、魅力ある職場作りを進め、社内の活性化を推進しました。改善点をシステムとして構築するにあたり、予定していた就業規則の改定を完了しました。また、コロナ禍における事務職在宅勤務促進のために、本社従業員へのノートパソコンの支給とテレワークシステムの導入を実施しました。社員教育について、安全教育、各種講習会、セミナーへの参加と部署内へのフィードバックを含めて、社員全体のスキルアップに努めました。労働時間の管理と製造人員の適正化を踏まえて、次年度(2021年4月迄)の採用活動を積極的に実施し、要望通り人員確保することができました。引き続き、適正人員の確保に努め、さらなる労働環境の改善につなげていきます。

**※働き方改革**

		実施項目	達成状況	総括	達成率
技術本部	金楽工場	労働生産性向上の徹底追求 物量向上:1% 能率向上:0.5%	物量向上: -0.6% 能率向上: -2.8%	労働生産性向上については、目標未達でした。来年度に向けて、問題点の抽出と改善を進めます。	- -
管理本部		全従業員 有給休暇5日取得	対象従業員の有給休暇5日取得済	労働環境の改善に向けた取り組み(有休取得、就業規則改定、時間外労働管理、社員面談)	100%
		就業規則の改訂	21規則改訂(完了)	は、おおむね達成しました。事務職の業務簡略化については、コロナ禍のテレワーク実施と対応業務が重なり、十分に簡略化を実践できませんでした。クラウド等を活用した売上管理の一元化など、テレワーク業務への移行に注力し、働き方の多様化を促しました。	100%
		時間外労働の管理 (毎月時間外データ確認、フィードバック)	36協定違反なし		100%
		離職者防止(若手社員との面談)	7月、10月、3月に面談実施		75%
営業本部		部内会議とデータ一元管理 (売上管理フォーマットの整理)	売上管理フォーマット統一化		50%
		テレワーク実施に向けた準備 (ノートPCの活用)	全部員へノートPC支給とテレワーク実施		50%

**※社員教育の実行**

		実施項目	達成状況	総括	達成率
技術本部	泉北工場	安全教育の計画的な実施(11回実施)	11回実施	社内の教育訓練や発表会などは、事業所内の小集団にて計画通り実施し、事業所間にまたがる場合は、web等を活用して感染防止対策を実践しました。	100%
研究開発本部		研究所内検討会 講習会などの参加	4件 16件		- -
管理本部		従業員向け新しい研修の実施	E-ラーニング実施(メンタルヘルス)		100%
営業本部		展示会、学会、セミナーへの参加	GMP管理(薬事担当者)、フロー合成セミナーに参加。コロナ禍による展示会、学会の中止等があるも、必要に応じてオンライン講演等に参加	対面式の外部講習会やセミナー、展示会、学会等は開催がなく、web等を活用した講習会やセミナーについて、積極的に参加できました。	50%

**※採用活動**

		実施項目	達成状況	総括	達成率
技術本部	泉北工場	来期事業所採用(製造10名、品管3名)	製造10名、品管8名、研究4名、品証2名、営業1名	2020年度は退職等もあり、当初の採用計画から変更することになりましたが、必要人員の確保に向け、中途採用枠の拡充や、新卒面接の実施回数を増やすなど、採用活動に最大限注力した結果、目標の人員確保ができました。	100%
管理本部		来期全社採用(製造10名、品管4名、研究5名)	合計25名採用(新卒13名、中途12名)		

事業目標:核酸医療ビジネスの収益

希少疾患への適用が期待される核酸医薬品の製造方法の研究開発において、一般的に使われる固相合成法が確立していますが、藤本化学製品が新たに開発した液相合成用の担体「Fujimat®」を用いることにより、安価で大量生産が可能な液相合成による新規核酸医薬品の開発スピードアップが期待できます。また、上市後には、当社のGMP管理のもと、世界中へ医薬品の供給体制を一貫して構築することを目指します。

【部門別目標】

- 技術本部 : 封じ込め技術の成熟化、FTE業務への参画、核酸ビジネスへの参画
- 研究開発本部 : ブロック合成法の確立検討、新規技術の発掘(フロー合成など)
- 管理本部 : ITセキュリティーの向上(技術情報漏洩防止の強化)
- 営業本部 : 協業先選定と広告宣伝強化、技術情報収集



【年度の活動内容】

液相合成単体「Fujimat®」の特許を2020年10月に取得し、商業製造と販売を開始しました。営業本部においては、研究開発本部の協力のもと、国内製薬メーカーへの「Fujimat®」プレゼン及び、協業先との研究開発に向けて活動を行いました。そして海外製薬メーカーへのアピール活動についてはリサーチを継続します。また、連続フロー合成の研究開発において、連続フロー合成社内プロジェクトチームを組織し、来年度以降の技術獲得を目指し活動を開始しました。さらに、医薬品製造時における封じ込め技術の向上を目指し、封じ込め性能評価に関する手順書の作成を進めています。また、ITセキュリティーの充足度向上における、外部侵入対策、情報漏洩対策などのゲートウェイセキュリティー対策について、引き続き改善を行っていきます。

※核酸技術開発

		実施項目	達成状況	総括	達成度
研究開発本部	基盤技術研究所	核酸医薬の液相合成技術の開発	液相合成担体の特許取得 液相合成担体の商業製造/販売実績有	核酸医薬品の新規事業における技術開発と商業活動については、さらなる商業拡大に向けて、国内にとどまらず、海外展開も見据えて、事業活動を継続しています。	100%
営業本部		Fujimat認知度アップ プレゼン資料作成・実施	国内製薬企業へのプレゼン実施 海外は大手商社を通じて資料開示実施		50%
		核酸ビジネスの具現化テーマ発掘 複数社との研究契約	技術開発検討継続		75%
		協業先選定に向けた情報収集 複数社との情報交換実施	複数社との継続交渉、新規窓口との折衝など		25%
		核酸事業の海外展開 代理店を窓口とし海外ユーザーをリサーチ	リサーチの継続、代理店との折衝など		25%

※フロー合成技術開発

		実施項目	達成状況	総括	達成度
研究開発本部	基盤技術研究所	連続生産技術の開発	社内プロジェクト発足、研究開発に着手	次年度での事業化に向けて、引き続き、検討を進めます。	30%

※封じ込め性能

		実施項目	達成状況	総括	達成度
技術本部	泉北工場	定期封じ込め性能評価に関する手順書作成	手順書作成済み	封じ込め技術の成熟化に向けて、問題点の抽出と改善活動を行います。	100%

※ITセキュリティーの充足度向上

		実施項目	達成状況	総括	達成度
管理本部		外部侵入対策充足度向上(5件)	外部侵入対策充足度向上(1件)検疫済不審メールの注意喚起実施 資産管理システム、標的型メール訓練	在宅勤務の実施に伴う、社外からのネットワーク接続に関するセキュリティー構築と回線増強などの対策は実施しました。さらなるITセキュリティーの向上に向けて、左記対策の中で、実施できていない部分の改善と、セキュリティー充実化を図ります。	50%
		ネットワーク内と出口対策充足度向上(5件)	メール誤配信機能対策 インターネットゲートウェイ対策		40%
		内部不正情報漏洩対策充足度向上(5件)	内部不正情報漏洩対策充足度向上(2件)非公式チャット、ソーシャルネットアプリブロック セキュリティーの外部委託などセキュリティー投資提案と実施		40%

**事業目標: リスクマネジメント、危機管理の推進、原材料の使用量削減、リサイクルの強化、環境にやさしい製造方法の開発**

- ・原材料の安定的な調達を推進し、計画的な製造を行うことにより、エネルギー消費量を削減します。
- ・有害物質の使用量削減や、製品中の有害物質の管理強化をします。
- ・有機溶剤等のリサイクルを推進します。
- ・製造法の改良による、工程や原材料の削減を推進します。



**【部門別目標】**

- 技術本部 : 無事故無災害生産の達成
- 研究開発本部 : 生産性向上への科学的観点からの参画(労働条件改善)。原料ソース、製造ラインの複数化提言
- 管理本部 : コンプライアンス強化。資金コントロールの実践
- 営業本部 : 提案活動の推進(工場、研究との連携)

**【年度の活動内容】**

製造部門による安全操業について、両工場において軽微なものを含めて災害が発生しました。無事故無災害の達成に向けて、次年度も十分に作業に注意し計画的な操業継続に努めます。そして、環境に配慮した活動として、溶剤のリサイクル化、廃棄物のリサイクル化に重点を置き、廃棄物の少量化を進めます。また、開発受託品を中心とした、生産性向上検討を継続的に実施し、製造know-howの最適化、原材料の適正使用、生産コストの削減や安全操業につながる工程改良を継続的に実施しました。社員の労働環境整備として、就業規則の改定、残業時間の管理を行い、職場環境の最適化を進めました。さらに、BCPの年次改定を行い、緊急事態時の事業の継続あるいは早期復旧を可能とする事業継続のための方法、手段などについて全社の取り組みを見直しました。営業本部においては、ユーザーに対して特殊技術、核酸技術、Fujimat®のアピールを行い、医薬品の受託、製造に向けての取り組みを強化しました。

**※安全衛生の強化**

		実施項目	達成状況	総括	達成度
技術本部	泉北工場	無事故無災害の達成	(軽微な災害)2件発生	無事故無災害は達成できませんでした。次年度に向けて、安全で安定的な生産活動に努めます。	0%
	金楽工場	無事故無災害の達成	1件		0%

**※環境に配慮した活動**

		実施項目	達成状況	総括	達成度
技術本部	泉北工場	溶剤リサイクル化等による省資源・省エネルギーの達成	完了	溶剤と廃棄物のリサイクル化を達成しました。	100%
	金楽工場	廃棄物のリサイクル(1件)	1件		100%

**※サプライチェーンの強化**

		実施項目	達成状況	総括	達成度
技術本部	泉北工場	産業廃棄物業者への視察を実施(2件)	1件	コロナ禍での実地監査を見直し、実施を持ち越しました。	50%

**※生産性の向上**

		実施具体例	生産性向上検討数	生産実施件数	備考
研究開発本部	プロセス開発研究所	合計件数	12件	9件	-
		スケールアップ	1件	1件	生産量向上
		原料ユーステスト	8件	4件	原料メーカー5社追加
		原料使用量の削減	0件	1件	触媒削減
		製法変更	0件	1件	ロット当たりの生産量向上
		製法改良	3件	2件	不純物低減/品質向上

**※経営基盤の強化**

		実施項目	達成状況	総括	達成度
管理本部	就業規則の改訂(21件)		21規則改訂	社員の労働環境整備の一環として、就業規則の改定、残業時間の管理、BCP改定を行い、職場環境の最適化を進めました。	100%
	36協定の順守		毎月、各事業所の残業時間を確認し結果を還元した。協定違反無し		100%
	BCP見直し(年1回)		定期更新済: パンデミック対策を記載		100%

**※営業力強化**

		実施項目	達成状況	総括	達成度
営業本部	技術PR: 高薬理設備、Fujimatのプレゼン		保有技術紹介を面談時に適宜実施 なお、スケジュール管理は未実施	技術力のアピールにより受託製造の事業力の強化を図りました。	50%

事業目標:工業廃水の管理

- ・活性汚泥処理設備の管理徹底と、大阪湾への処理水の規制値を達成します。
- ・下水道処理への排水管理を徹底します。
- ・高薬理活性施設で使用した、産業廃棄物の処理方法の管理を徹底します。



【部門別目標】

- 技術本部 :高薬理活性設備の使用済み風袋の処理法の管理。活性汚泥処理設備の管理
- 研究開発本部 :金楽高薬理活性設備の使用済み風袋の処理法の管理。地下ピットの排水管理
- 管理本部 :コンプライアンス強化
- 営業本部 :環境規制遵守確認、新技術へのアプローチ

【年度の活動内容】

工場排水について、敷地内ピットでの水質管理を徹底し、排水規制に則した処理管理を行いました。また、活性物質を取り扱った風袋等については、廃棄処理の徹底と専門業者による焼却処理を行い、暴露漏洩等の無い処理管理を行いました。引き続き、環境中への化学物質の漏洩を最小限とし、作業場の労働環境を守る施策を実施します。

そして、社員教育については、階層別研修を年1回実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため対面式講習会を中止しました。また、新技術の獲得に向けて、他社との協業を進めて、環境にやさしい製造方法の開発を行っていく方向性を示し、次年度以降本格的な活動に移る予定です。

※ 排水管理の充実

		実施項目	達成状況	総括	達成度
技術本部	泉北工場	活性汚泥処理日常のトレンド分析による傾向解析と対策の実施	規制値順守	工場排水の管理を敷地内で適正に実施し、規制値を遵守して処理を実施しました。	100%
	金楽工場	排水量:28,812m <sup>3</sup> /年 日常監視及び週1回の水質試験実施	規制値順守 市役所定期採水1回/年クリア		100%

※ 薬理活性物質廃棄管理の充実

		実施項目	達成状況	総括	達成度
技術本部	泉北工場	高薬理活性設備の使用済み風袋の管理徹底	暴露無し	薬理活性物質の漏洩対策として、風袋処理の作業手順の遵守と廃棄記録を実施しました。	100%
研究開発本部	プロセス開発研究所	専門業者による焼却燃焼 高活性物質の漏洩対策済み	適正廃棄26枚		100%

※ 社員教育の実施

		実施項目	達成状況	総括	達成度
管理本部		階層別研修(主務、主査、主事)各1回	未実施	12月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため実施できませんでした。	0%

※ ステークホルダーへのアプローチ

		実施項目	達成状況	総括	達成度
営業本部		新技術獲得への情報収集 連続生産技術確立への新技術獲得	具現化に向けた課題事項のピックアップ	事業参画に向けた社内プロジェクトによる方向性を示したが、次年度への継続審議となりました。	50%